

六甲アイランド高校・尼崎小田高校合同中間発表会

11/18 (木) 6、7 限、神戸市立六甲アイランド高等学校にて、同校と本校の課題研究の成果についての合同中間発表会が行われ、本校からは SR 科 2 学年の生徒が参加しました。まだまだ課題研究は途中段階ですが、研究紹介のポスターを作成し、お互いの学校間で発表しました。相手校の発表を聴いて、様々な発表テーマに触れることができ、また、発表することで自分達の課題が見えたり、より良い発表方法を考えることに繋がったりと、有意義な発表会となりました。



表1 尼崎小田高校の発表テーマ一覧

発表テーマ一覧
ゴールドバッハ予想を高校生の主観から証明に近づける
緑色のマイクロプラスチックの経路を追って
ニワトリの卵の発生
吸音で心にゆとりを
モデルロケットの形状・取り巻く環境での高度の関係 ～算数思考計算ゲーム～Calc～
土壌生物の観察
食用できる微生物

小高連携事業 高校生による算数・理科の授業

11/25 (木) 6、7 限、本校にて小高連携事業 高校生による算数・理科の授業が行われ、尼崎市立清和小学校の 3、4 年の児童に本校に来てもらい、本校 SR 科 2 学年の生徒が、実験等の体験授業を行いました (表 2)。多くの高校生にとって小学生に教える機会はほとんどなく、授業内容について分かり易く伝えることの難しさを実感したようです。一方、小学生の皆さんにとっては楽しい体験になったようで、理科がさらに好きになったという声もありました。

表2 本事業の体験内容一覧

体験内容
Calc ～カルク計算ゲーム～
目に見えないふしぎな力
カラフルな人エイクラを作ろう!
新カチコチ大作戦
炭酸マグマを作ろう
プランクトンを観察しよう



地域課題解決に取り組む高校生サミット

11/21 (日) 本校にて、本校 SSH 科学技術人材重点枠の取組である「地域課題解決に取り組む高校生サミット～兵庫から日本を考える～」が開催されました。本サミットはこれまでに行われた 3 回のワークショップ (第 1 回 7/22 須磨海岸、第 2 回 10/3 須磨海岸、第 3 回 10/24 人と自然の博物館) のまとめとなる事業です。来校者とオンライン参加者を含めて総勢 155 名が参加し、高校生は自分達の研究成果を発表し、また、海の環境問題についての講義を聴いた後、海と山の環境のつながりや、環境に対して人が手を加えることの意味についてディスカッションをしました。そして、報告会ではディスカッションの内容について全体に発表しました。研究成果発表は来校者についてはポスターセッションで行われ、他校の先生方や専門家の方々から研究についての助言を得られ、今後の研究の糧となりました。また、ディスカッションやその報告会では環境問題においては先を見据えた人の手による管理が必要であるといった意見が見られ、これまでのワークショップで度々話題として出てきた重要な視点を共有することが出来、有意義なものとなりました。



数学・理科甲子園 2021 参加

11/27 (土)、姫路市文化コンベンションセンター アクリエひめじにて開催された数学・理科甲子園 2021 に、選手として本校 SR 科 2 学年の生徒 6 名が、大会ボランティアとして本校 SR 科 1 学年の生徒 3 名が参加しました。本大会は、数学や理科についての問題や課題が与えられ、その課題の解決力を競うものです。普段の課題研究で鍛えられた思考力を活かして、難しい問題にも挑戦しました。

